教育心理学

科目ナンバリング　EDP-103
選択　　2単位

山村　　豊

1. 授業の概要（ねらい）

教育心理学の対象となる領域のうち、教育心理学の基礎（教育心理学史、学習、認知、動機づけ）を概観したのち、学習指導、教育評価、学級集団についての先行研究を中心に概観する。それらを通じて、今日の学習指導や評価、学級経営の問題点や課題について考察していく。

2. 授業の到達目標

選択必修科目『感性と知性の心理』や教職に関する科目『心身の発達と学習過程』で習得した学習、認知、動機づけについての心理学的知見を踏まえつつ、学習指導、教育評価、学級経営の心理学諸理論を理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業の受講態度、授業中に実施する小テスト（20%）、学期末テスト（80%）を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
山村豊・青木智子（編）　『学びのための心理学』（改訂版）　（北樹出版）

5. 準備学修の内容

授業前に、テキストの講義内容が記載さている箇所を、簡単に、読んでおく。
授業後、ノートとプリントをまとめ、授業内で分からなかった点を後日質問すること。

6. その他履修上の注意事項

教育心理学の中でも学習と認知、動機づけなどの基礎的側面と、学習指導と教育評価などの応用的側面を取り上げる。心理学全般を理解したうえで受講すると理解が深まるため、『心理学概論Ⅰ』『心理学概論Ⅱ』を併せて履修すると、学習効率は飛躍的に高くなる。また、教員採用試験教職教養「教育心理」を強く意識して授業を行う。

7. 授業内容

【第1回】　教育心理学とは―授業ガイダンス
【第2回】　学習についての2つの考え方―連合説と認知説
【第3回】　連合説の学習理論①―古典的条件づけと道具的条件づけ
【第4回】　連合説の学習理論②―オペラント条件づけと社会的学習理論
【第5回】　認知説の学習理論①―記憶プロセス
【第6回】　認知説の学習理論②―記憶システムとメタ認知
【第7回】　学習の動機づけ①―内発的動機づけと外発的動機づけ
【第8回】　学習の動機づけ②―動機づけの向上と自己決定理論
【第9回】　学習指導①―プログラム学習と完全習得学習
【第10回】　学習指導②―発見学習・有意味受容学習と自己調整学習
【第11回】　教育評価①―測定と評価
【第12回】　教育評価②―教育評価の種類と機能
【第13回】　これまでの授業内容のふり返り
【第14回】　過去の小テストの解説（LMS）
【第15回】　期末テストとまとめ